

薄型セパレート丸座 (UM)・角座 (CSQJ)・横角長座 (CYBJ) レバーハンドル  
空錠・内締錠・表示錠・シリンダー錠 取付説明書

**注意** この表示は誤ると「傷を負うか、又は物的障害の可能性が想定される」内容です。



禁止

※本製品は屋内専用です。  
玄関や浴室、屋外では使用しないでください。  
※シリンダー錠は商業施設等の多頻度使用には適さない仕様ですので  
使用しないでください。  
キーやシリンダーの摩耗で正しく施解錠出来なくなることがあります。  
※電動ドライバーは使用しないでください。  
各取付ネジは製品の変形・破損、扉の変形に注意し、  
作動不良が無いようにしっかり締付けてください。



株式会社 川口技研

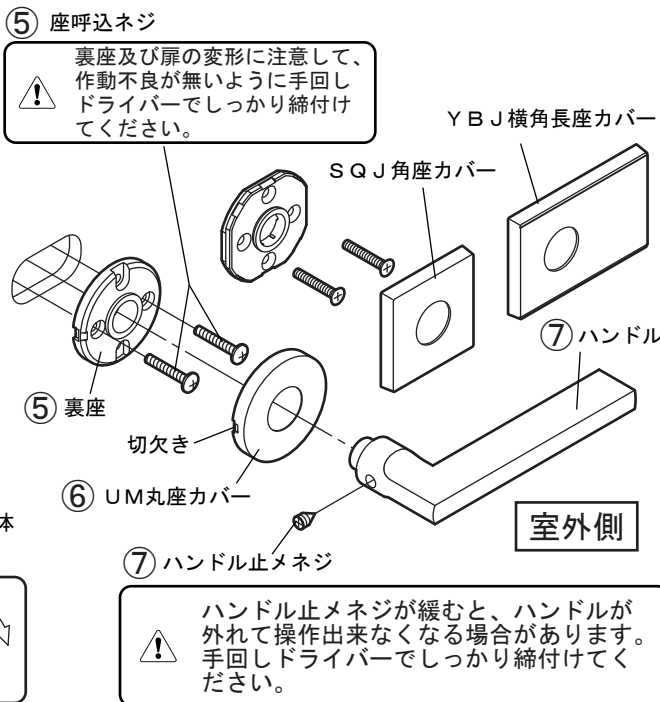
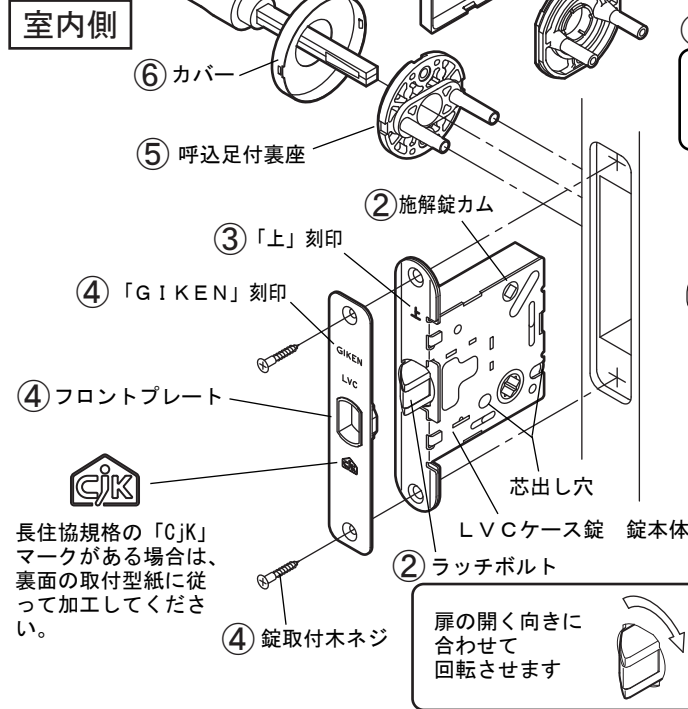
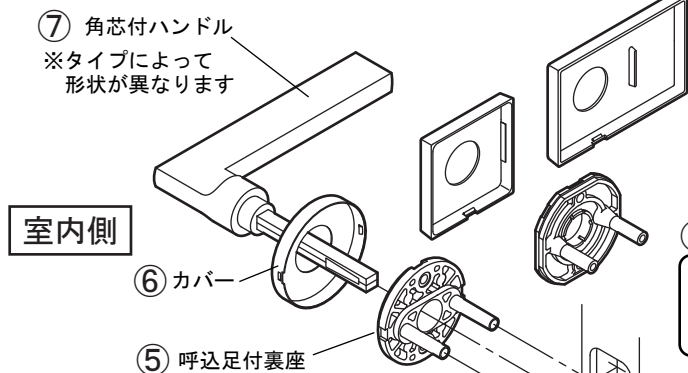
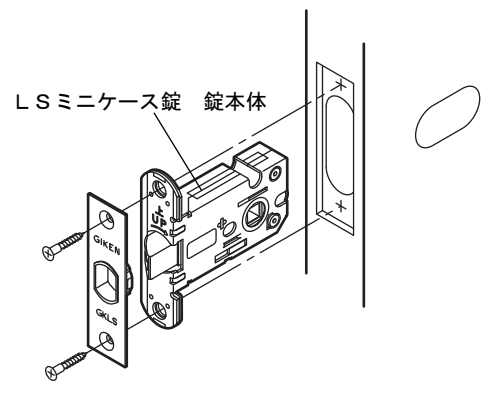
〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41  
TEL 048-255-5411 FAX 048-255-8228  
http://www.kawaguchigiken.co.jp/

施工前にこの取付説明書を  
よくお読みいただき、  
安全に正しく施工されます  
ようお願い致します。

使用可能扉厚 33~40mm

空錠の取付け LVC-1UM・1SQJ・1YBJ, LS-1UM・1SQJ・1YBJ

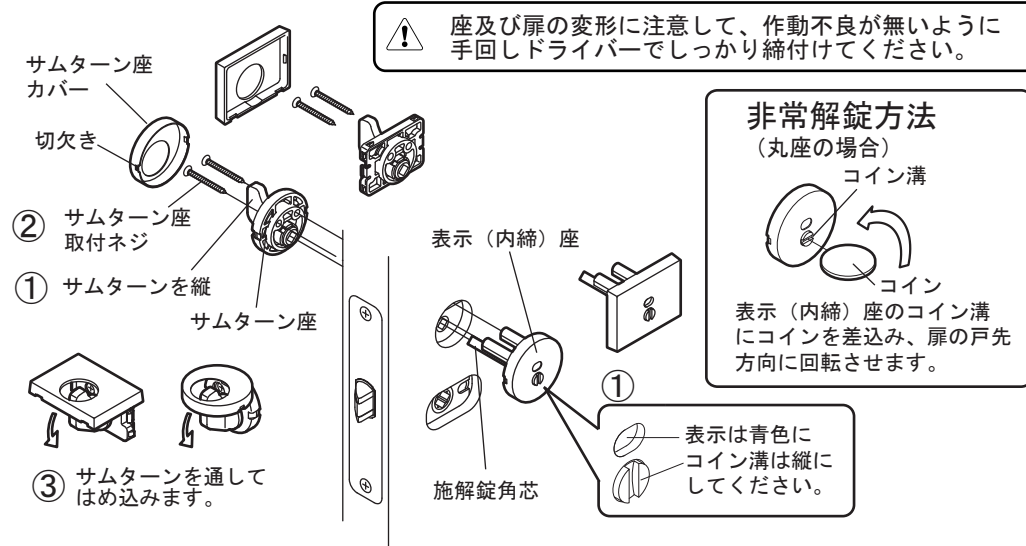
- ハンドルの取付けは、角芯付ハンドルを室内側に取付ける様にお願いします。  
(万が一ハンドルが抜けてしまった場合に角芯付ハンドルを室内側にしておけば、ドアを開ける事が出来ます。)
- ハンドルデザインによっては角芯付ハンドルが室内側に取付け出来ない場合があります。  
その場合は、ハンドルデザインの向きに合わせてハンドルを取付けてください。



1. 取付型紙に従って、扉に彫込みをしてください。
2. ラッチボルトを指で押込んでみて、ラッチボルトが押込める解錠状態である事を確認します。  
ラッチボルトが押込めない場合には、施解錠カムをドライバー等で回してラッチボルトを押込める状態にしてください。  
LSミニケース錠の場合は、この作業は不要です。
3. 錠本体の「上」刻印を上にして扉に挿入して、扉の開く向きに合わせてラッチボルトを回転させます。
4. 「GIKEN」刻印の向きに合わせてフロントプレートを取付け、錠取付木ネジで固定してください。
5. 呼込足付裏座を錠本体の芯出し穴に差込み、裏座と座呼込ネジで裏座及び扉の変形に注意して、作動不良が無いように手回しドライバーでしっかり締付けてください。
6. 内外のカバーを、裏座の切欠きを合わせてはめ込んでください。
7. ハンドルは角芯付ハンドルを室内側に取付け、ハンドル止メネジでしっかり取付けてください。  
ハンドルデザインによっては角芯付ハンドルが室内側に取付け出来ない場合があります。  
その場合は、ハンドルデザインの向きに合わせてハンドルを取付けてください。
8. 裏面を参考にして、調整ストライクをラッチボルトの位置に合わせて取付けてください。

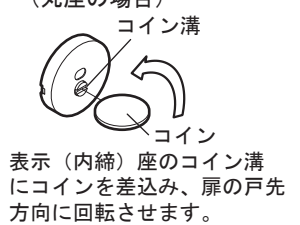
内締錠・表示錠の取付方法 LVC-3/4UM・3/4CSQJ・3/4CYBJ

1. 施解錠角芯を回してコイン溝を縦 (表示座の表示を青) にして、施解錠角芯を錠本体の内側のサムターンも縦にして表示 (内締) 座とサムターン座を組合わせます。
2. サムターンを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認してから、動きの良い所でサムターン座取付ネジを締付けてください。
3. サムターンカバーは、穴をサムターンを通してはめ込んでください。



座及び扉の変形に注意して、作動不良が無いように手回しドライバーでしっかり締付けてください。

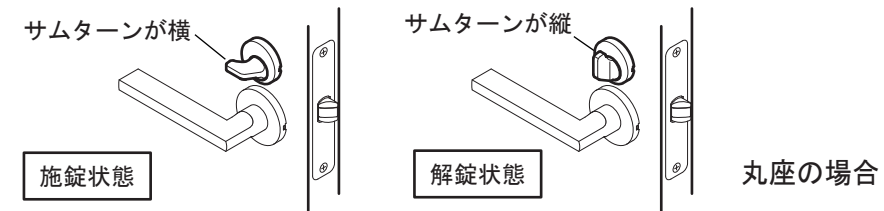
非常解錠方法 (丸座の場合)



表示 (内締) 座のコイン溝にコインを差込み、扉の戸先方向に回転させます。

サムターンによる施解錠方法

1. 施錠する場合は、サムターンを回転させてサムターンを横の状態にします。
2. 解錠する場合は、サムターンを施錠時と逆方向に回転させて縦の状態にします。

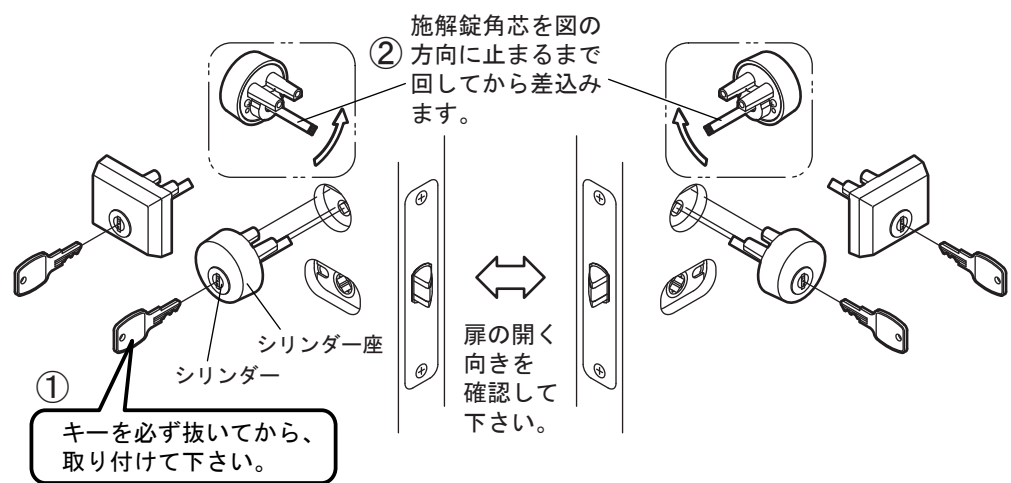


シリンダー錠の取付け LVC-5UM・5CSQJ・5CYBJ

1. キーをシリンダーから必ず抜いて下さい。  
キーを差し込んだままでは正しく取り付けが出来ない場合がありますので、ご注意ください。
2. 扉の左右勝手に合わせて、施解錠角芯を矢印の方向に止まるまで回してから差込みます。
3. 内側のサムターンを縦にしてシリンダー座とサムターン座を組合わせます。
4. 扉を開けたまま、キーとサムターンを回してハンドルが正しく固定・解除されることを確認してから、サムターンの動きの良い所でサムターン座取付ネジを締め付けてください。
5. サムターンカバーは、穴をサムターンを通してはめ込んでください。

**注意** 施解錠角芯の挿入する向きを逆にすると、正常動作できなくなりますので、ご注意ください。

施解錠角芯の向きにご注意下さい。

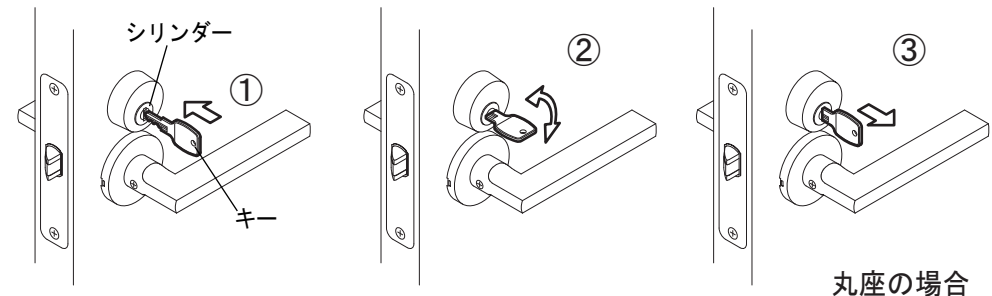


サムターンが動かない場合

シリンダー座を取外し、施解錠角芯の向きを確認して取付けてください。

キーによる施解錠方法

1. キーを縦にしてシリンダーに差込みます。
2. キーを90度回転させて縦にしてから、90度戻します。
3. キーを縦の状態ではめます。  
※解錠は施錠時と逆方向に回転させます。



丸座の場合

# 取付型紙

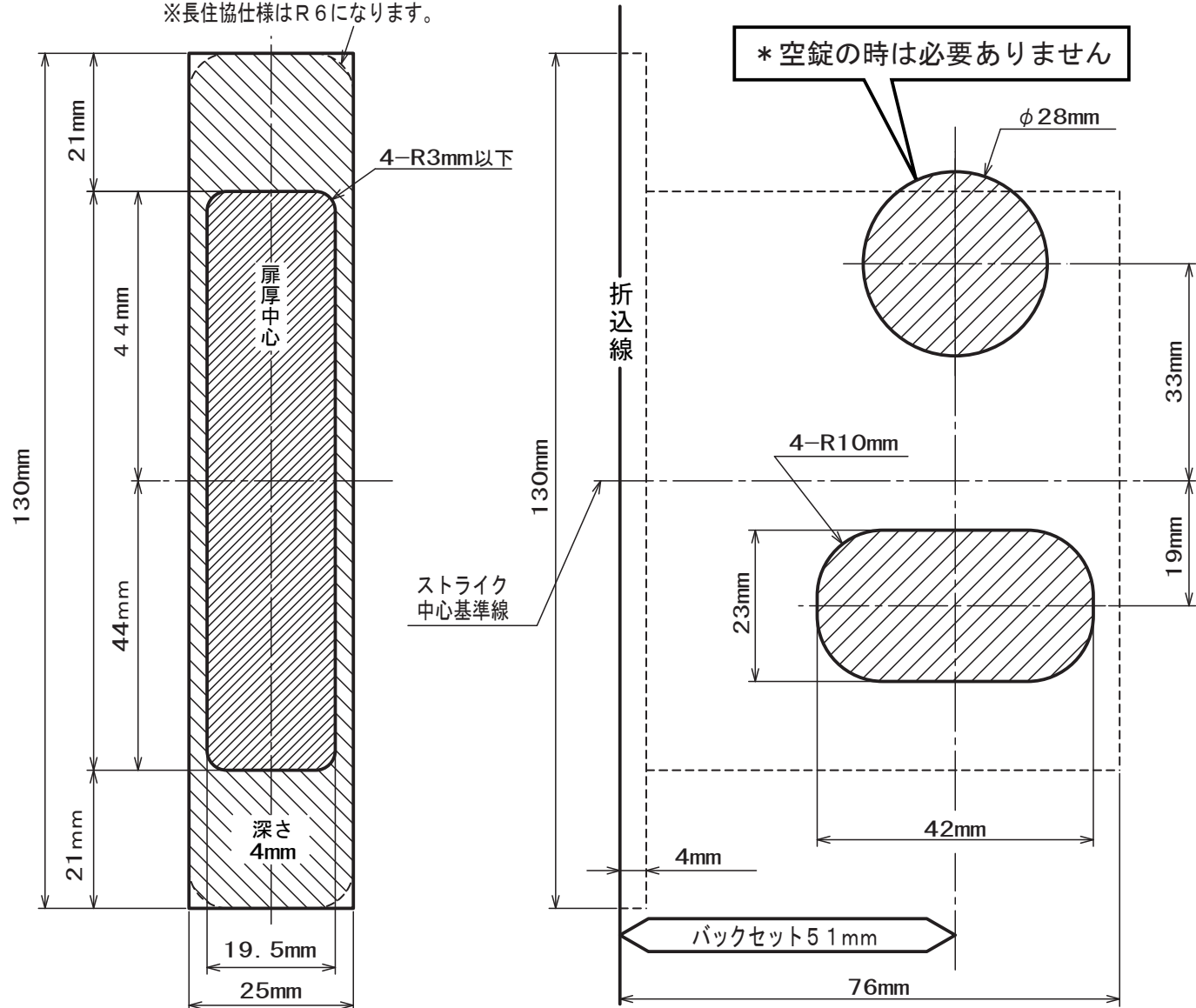
使用可能扉厚  
33~40mm

## 注意

※取付型紙をコピーして使用する場合は、原寸大である事を必ず確認してください。

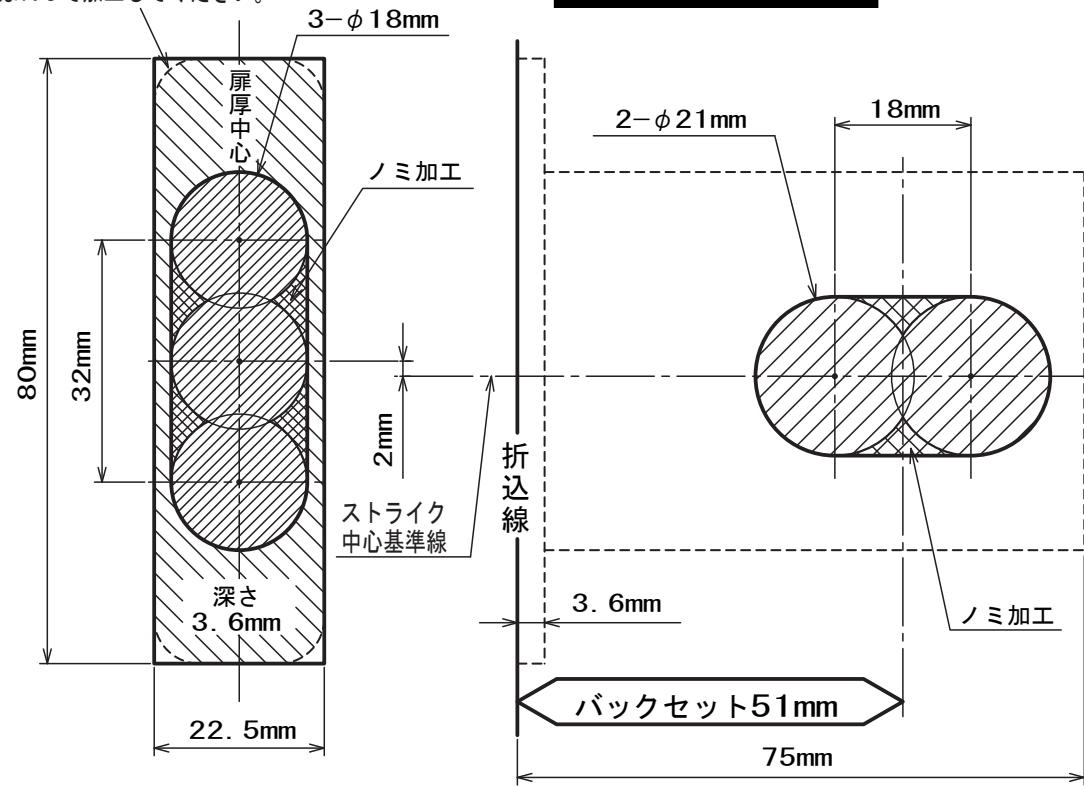
### LVCケース錠

フロントプレートのカド形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。  
※長住協仕様はR6になります。



フロントプレートのカド形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。

### LSミニケース錠



### 長住協仕様とするためには

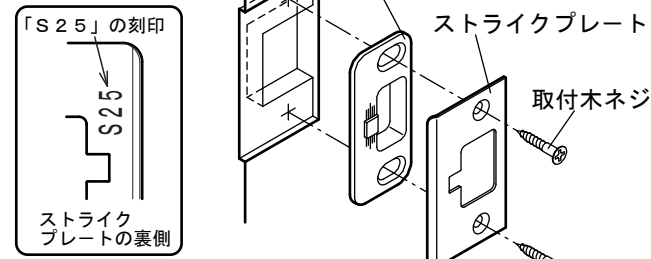
- ①ケース錠・・・LVCケース錠（フロントプレートR6・マーク入り）
- ②切欠き・・・LVCケース錠取付型紙のフロントプレートR6仕様
- ③ストライク・・・KM調整ストライク（R6仕様のみ）  
（※上記の3条件を満たさないと、長住協仕様にはなりません。）

### 調整ストライク 取付方法

オプション品をご使用になる場合は、専用の彫込みを行なってください。

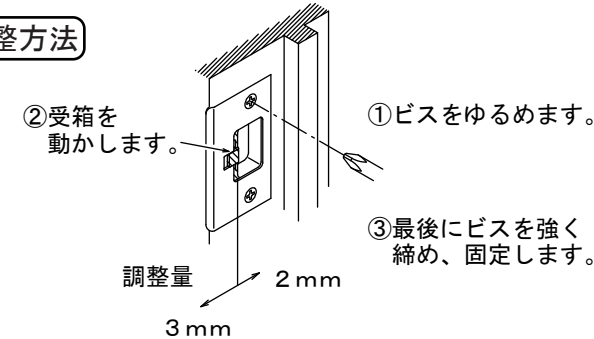
#### S25調整ストライク（標準品）

##### 取付方法



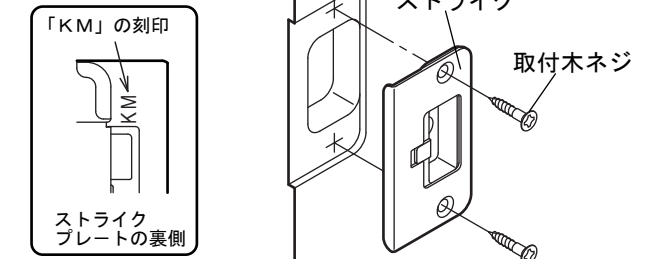
1. 取付型紙に従って、枠に彫込みをして下さい。
2. 上図のように取り付け、仮止めして下さい。
3. 受箱をラッチボルトに合わせて動かして下さい。
4. 取付木ネジで固定して下さい。

##### 調整方法



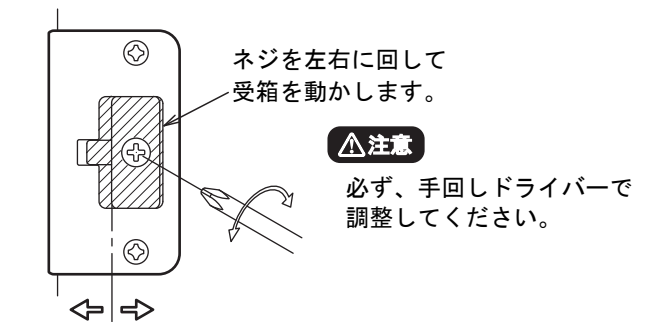
#### KM調整ストライク（長住協対応オプション）

##### 取付方法



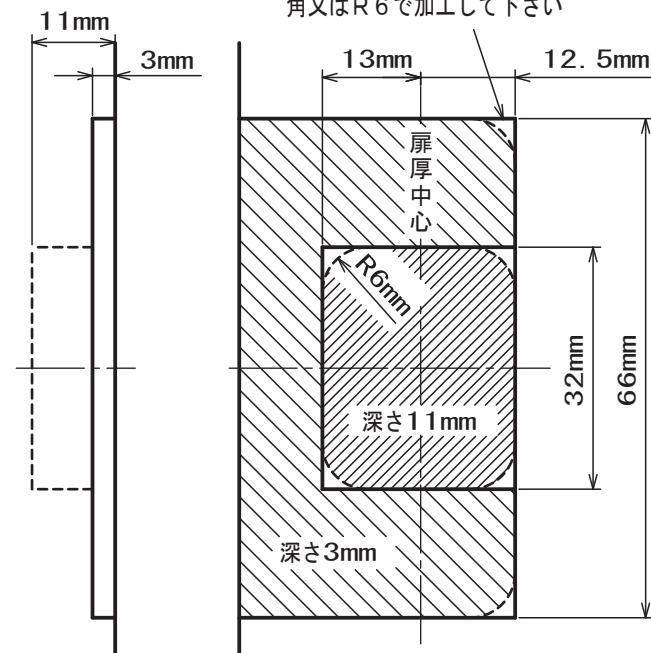
1. 取付型紙に従って、枠に彫込みをして下さい。
2. 上図のように取付け、取付木ネジで固定して下さい。

##### 調整方法

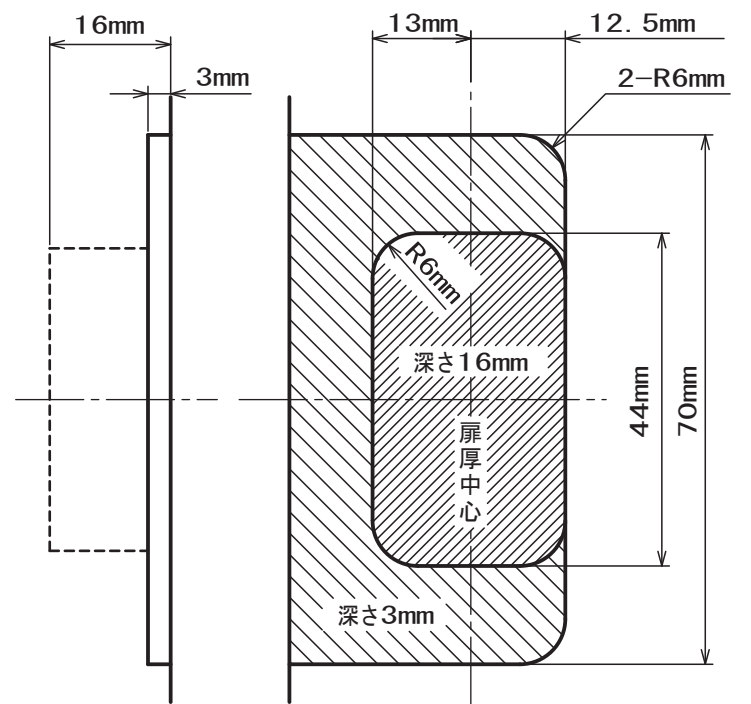


### 取付型紙

ストライクのカド形状は現品に合わせて角又はR6で加工して下さい



### 取付型紙



**LSミニケース錠・LVCケース錠**  
**薄型セパレート丸座 (UM)・角座 (SQJ)・横角長座 レバーハンドル**  
**空錠・内締錠・表示錠・シリンダー 取扱説明書**

地球にやさしく 品質の向上へ **ISO 14001 9001** **川口技研**

営業本部 / 〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41  
TEL 048(255)5411 FAX 048(255)8228  
ホームページ <http://www.kawaguchigiken.co.jp/>

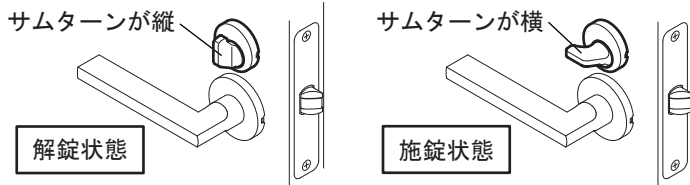
●はじめに

製品を安全にご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになられた後は、いつでも見られる場所に保管してください。

**操作方法**

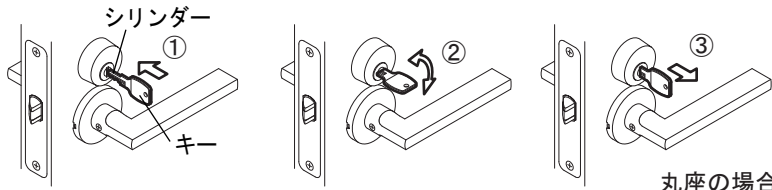
●サムターンによる施解錠方法

施錠する場合は、サムターンを回転させてサムターンを横の状態にします。  
解錠する場合は、サムターンを施錠時と逆方向に回転させて縦の状態にします。



●キーによる施解錠方法

1. キーを縦にしてシリンダーに差込みます。
  2. キーを90度回転させて横にしてから、90度戻します。
  3. キーを縦の状態で抜きます。
- ※解錠は施錠時と逆方向に回転させます。



**取扱上の注意**

1. ハンドル止メネジや座呼込ネジ、サムターン座取付ネジがゆるんだ状態で使用していると、製品本来の機能と耐久性が維持出来なくなったり故障の原因となるので下記の「ネジの増締め方法」を参考に増締めをお願いします。
2. ハンドル等が汚れた場合のお手入れは、下記の「表面のお手入れ方法」を参考にしてください。  
中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないでください。
3. シリンダーに異物（たとえば、針金、爪楊枝など）を入れないでください。異物が詰まるとキーを差込む事が出来なくなります。
4. 指輪及び硬質なもの、キズを付けけないようご注意ください。塗膜はがれの原因になります。

**注意** ハンドルを片側または両側とも取外した状態でドアが閉まると、ドアを開ける事が出来なくなります。  
ハンドルを外した状態では使用しないでください。

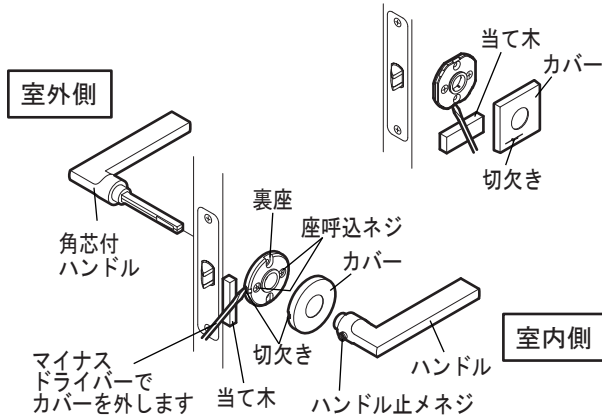
**ネジの増締め方法**

●ハンドル止メネジのゆるみ

手回しドライバーで、ハンドル止メネジをしっかり締付けてください。

●座呼込ネジのゆるみ

1. ハンドル止メネジを緩め、ハンドルを外します。
2. マイナスドライバーをカバー横切欠きに当て木を添えてから差込みカバーを外します。
3. 座呼込ネジを裏座及び扉の変形に注意して、作動不良が無いように手回しドライバーでしっかり締付けてください。
4. カバーを裏座の切欠きに合わせてはめ込みます。
5. ハンドルは角芯付ハンドルを室内側に取付け、手回しドライバーでハンドル止メネジをしっかり締付けてください。  
ハンドルデザインによっては角芯付ハンドルが室内側に取付け出来ない場合があります、その場合は、ハンドルデザインに合わせて取付けてください。



**鍵のお手入れ方法**

1. キーの鍵山に付着した汚れをブラシなどで、きれいに落としてください。
2. キーの鍵山に黒鉛（鉛筆の黒芯）を塗り、キーをシリンダーに差込み、キーの抜きしや回転を数回行ってください。
3. キーの差込みや回転操作がスムーズになりましたら、付着した黒鉛を拭き取り、衣服などを汚さないように注意してください。  
市販されている住居用鍵専用の潤滑剤（油の含まれていないパウダースプレー）を使用する場合、ノズル先端をシリンダーに差込み0.5秒程度吹付け、キーで抜きしや回転を行ってください。油（グリスや合成潤滑油など）は、ほこりを吸着してかえって動きを悪くしますので絶対に使用しないでください。
4. スペアキーは、キーナンバーでご注文頂けます。販売店を通じてご注文ください。



**表面のお手入れ方法**

1. 軽い汚れの場合は、柔らかい布で軽くから拭きしてください。
2. から拭きでは落ちない汚れの場合は、水を含ませた柔らかい布で水拭きし、その後から拭きしてください。
3. 水拭きで落ちない汚れの場合は、柔らかい布に3%程度に薄めた中性洗剤を含ませて拭き取り、その後洗剤が残らないようによく水拭きし、最後から拭きして水分が残らないようにしてください。洗剤や水分が残っていると腐食の原因になります。